

ボーリング柱状図

調査名 平成27年度防災・安全交付金（交通安全）工事

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 3	調査位置	三才大豆島中御所線長野市朝陽（石渡南堀）			北緯			
発注機関	株式会社 鹿熊組			調査期間	平成 28年 8月 1日 ~ 28年 月 日		東経		
調査業者名	株式会社 土木管理総合試験所 電話 (026-299-8559)		主任技師	現場代理人	石澤 佑也	コ鑑定者	石澤 佑也	ボーリング責任者	新村 勲
孔口標高	343.386m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	YBM-05
総掘進長	15.45m	度	0°	向				ハンマー落下用具	半自動落下装置
								エンジン	NFD9
								ポンプ	V6

標尺 (m)	層高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (掘進月日)
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値				
342.89	0.50	耕作土	褐色				表層に植物根を混入する耕作土を主体とする。含水中位。	1.15	1	1/20	2/30				
341.79	1.10	シルト	黒褐色				GL-0.8~0.9m付近に木片を大量に混入するシルトを主体とする。含水中位。粘性中位。	1.45							
341.09	0.70	細砂	灰褐色				GL-1.9m付近で亜円礫が卓越する。全体的には細砂を主体とする。含水やや高位。	2.00							
339.74	1.35	有機質シルト	暗褐色				有機物を不均一に混入するシルトを主体とする。含水中位。GL-2.7~2.9m間は含水やや高位。粘性中位。	2.60	ハンマー自沈	0/60					
338.29	1.45	砂礫	灰褐色				φ2~20mm程度の亜円礫を主体とする。マトリックスはシルト分を混入する細砂からなる。GL-4.9m付近で砂分優勢となる。含水中~やや高位。	3.00	ハンマー自沈	0/45					
336.79	1.50	シルト	暗褐色				砂分を少量混入するシルトを主体とする。全体的に不均質である。含水中位。粘性中位。	3.45							
336.54	0.25	砂礫	暗褐色				φ2~20mm程度の亜円礫を主体とする。マトリックスはシルト分を混入する細砂からなる。含水やや高位。	4.15	14	12	12	38			
334.89	1.65	シルト質砂	暗褐色				有機物及びシルト分を混入する細砂を主体とする。含水中位。GL-7.5~7.6m付近で礫分が卓越する。GL-7.6m以深で砂分優勢となる。	4.45	1	1	1	3			
332.59	2.30	砂質シルト	暗褐色				砂分を不均一に混入するシルトを主体とする。含水やや高位。粘性中位。	5.15	1	1	1	3			
331.79	0.80	砂礫	緑灰色				φ2~20mm程度の亜円礫を主体とする。マトリックスはシルト分を混入する細砂からなる。含水中位。	5.45	0	1	1	2			
331.39	0.40	シルト	黒褐色				全体的に均質なシルトを主体とする。含水中位。粘性中位。	6.15	0	3	1	6			
330.39	1.00	礫混じり砂	灰褐色~緑灰色				φ2~10mm程度の亜円礫を混入する細~中砂を主体とする。含水中位。	7.15	2	3	1	6			
327.94	2.45	細砂	緑灰色				少量のシルト分を混入する不均質な細砂を主体とする。含水中位。	7.45	2	2	2	6			
								8.45	1	1	1	2			
								9.15	1	1	1	2			
								9.45	1	1	1	3			
								10.15	1	1	1	3			
								10.46	3	2	3	8			
								11.15	3	2	3	8			
								11.45							
								12.15	2	2	2	6			
								12.45							
								13.15	2	2	4	8			
								13.45							
								14.15	2	4	6	12			
								14.45							
								15.15	3	4	4	11			
								15.45							

改良範囲

